

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム うえの
(ユニット名)	さちの家
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県鹿屋市上野町5200番地1
記入者名 (管理者)	田中 洋子
記入日	平成 20 年 8 月 5 日

(様式1)

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	1 自分のペースで生活出来るように暖かく見守ります 2 清潔な場所でオシャレをして、いつも笑顔で楽しく過ごします 3 家族や地域の方々との交流を大事にします 4 趣味活動を生かしながら生きがい作りを持ち続けます	○ ①②③はほとんどできている 一人ひとりの生きがいづくり趣味を見出して行きたい 個人買物支援にも力を入れて行く
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	体操、歩行訓練、ゲーム、書道、生け花、外気欲、温泉M、外食、花見、散髪、家族との交流など楽しみ、衛生的ケアに取り組んでいる	○ 日々の取組みの維持継続
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ハッスル便り（新聞）など家族の方へ毎月1回発送し暮らしぶりなど見て頂いている	○ 継続している
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	常に玄関、門扉の開放で入りやすくしている	○ 出来るだけ気軽に立ち寄ってもらえるように、玄関、門扉の開放散歩等での挨拶など心かけている
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の夏祭り、運動会、グランドゴルフなど積極的に参加している	○ 出来る限りの参加を目指す

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内会での話し合い参加している 運営委員会の設置で状態を聞いたりしている	○	町内会での情報、意見をもとに職員会議で話し合い取り組んでいる
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価に対して、悪かった部分を中心に良かった部分も含めて維持できるよう心がけている	○	職員会等で評価の一連の課程を通じて、質の確保、向上につなげるよう勉強。また現状維持が出来るように常に話し合っている
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、意見を頂き職員会議等で報告しサービスの向上に役立っている	○	利用者に、よりよい環境のもとでその人に合ったサービスが提供出来る様に全員で取り組む
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市会議員さんや、町内会長の意見を頂いている 行事参加も頂いている	○	よりいっそうの連携を取りあってよりよいサービス向上を目指す
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度の理解はあるが活用までは、現在至っていない	○	学ぶ機会を増やして行く
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	転落防止にて、家族へ相談しベッド柵2本を使用している 言葉や暴力等の虐待がないよう努めている 不潔行為防止の為（口に何でも入れない様）つなぎ服使用（家族了解）（夜間のみ）	○	今後も職員一人ひとりが虐待に対する意識を高め、注意防止に努める

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所する際、利用者さん家族の方々に十分な説明を行い契約している	○	その都度、家族等の不安疑問点を苦情箱の設置で解決し納得して頂けるよう心掛ける
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	その都度話し合いを設け改善出来る様努めている	○	利用者の意見、不満、苦情など早期解決を心かけ話し合いを設ける
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、現状報告している毎月1回「うえのハッスル」だよりなどホームでの暮らしなど報告し健康状態、金銭管理などその都度家族へ連絡している。県外への家族には電話連絡を取っている	○	ハッスル便りなど細目に発行し家族の方々に安心、信頼して頂けるようにしている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	その都度管理者に報告、話し合いを設け対応し改善している	○	苦情処理ノートを設置し意見不満苦情等の早期解決に心かける
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回、職員会議、ケース会議など行いそれ以外でもその都度開き解決出来るように努めている	○	常に、意見交換が出来る様にしている
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の就寝時間、生活リズムなどに合わせてスタッフの勤務時間を調整している	○	行事等へのボランティアなどを推進して行く

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は、ほとんどなく離職される場合は利用者にわからない様に退職される	○	動揺を最小限度に保ちダメージを防ぐ様にコミュニケーションを密にする
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講演会、研修会など勤務の支障のない時間帯であれば参加して頂く	○	日々の勉強であり、わからない事は他の職員、上司に聞く
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム経営者連絡協議会等で情報交換している	○	同業者と交流する機会を持ちネットワークづくり、勉強会などして行きたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	勤務希望、勤務交替を全面的に取り入れている	○	食事会などを開き、ストレス解消チームワーク作りに取り組んでいる
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勉強会への参加に声かけし、積極的に参加している	○	スタッフ同士が意見を出し合い向上心を持って勤務している
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	コミュニケーションを取り、会話を通して信頼関係を深めていく様努力している	○	話しやすい雰囲気作りに心かけている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談を受けた時、ただちに対応し家族本人が納得できる様に努めている	○	話しやすい雰囲気作りに心かける
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の要望、必要としている支援を見極めながらプラン作成している	○	小さな事でも相談して頂ける様に接遇マナーなど勉強して行きたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	声かけ対応を工夫し、職員同志連携を取りながら勤めている	○	声かけを多く行い安心して生活出来る様に対応する
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者との会話に心かけ、共感し共に笑い悲しみ心の通じ合う良い関係を作り努めている	○	自分の家族と思い接していく
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	情報提供、近況報告を行い家族の意見を聞いたりして信頼関係作りを行っている	○	スタッフと家族のコミュニケーションの場を設ける
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	誕生会、敬老会、クリスマス会など交流の場を設けている	○	家族の方が来られない利用者様には、寂しくない様に家族の代わりが出来るように心かける

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方、親戚、昔お世話になった方の面会、遠方では、電話をされたり暑中見舞い、年賀状を出すなど大切にしている	○	馴染みの方は時々は面会に来られるが行事等の参加など呼びかけをして行きたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	本人のペースに合わせて生活出来る様に見守りながら利用者同士と一緒に助け合い互いに刺激を受けて楽しい生活が送れる様に支援している	○	トラブル防止に努め孤立のない生活を支援して行く
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病院入院の場合は、HPのSWや相談員に相談するなど家族が困らない様にしている	○	入院時は、お見舞いを兼ねて情報を交換しより良い日々を過ごせる様に信頼関係を大切にする
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	プラン作成時家族本人の希望思考を大切にしている。ケース会議、担当者会議で現状を把握し利用者の意見を尊重している	○	プランに取り入れ良い毎日が送れる様に、日々のコミュニケーションを大切に する
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族との話を聞き個人記録にて把握に努める	○	気付き帳に記入し生活しやすい状態にする
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケース会議や毎朝の申し送りで現状を把握し、その人らしい生活が出来る様努めている	○	日々の状態チェックやスタッフによる情報交換を行いベストな現状維持が出来る様に努める

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケース会議、担当者会議及び問題発生時にDr, スタッフ本人で話し合い計画を作成している	○	日々のコミュニケーション作りを大切にしながら本人のよりよい暮らしを見出しに行く
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の変更など、見直しをする時などは、その都度本人又は家族等に連絡し新たな計画を作成している	○	問題が生じたら迅速に対応出来る様、ケア会議をし本人家族への報告話し合いをし計画変更に努める
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の行動を個人記録に記入し申し送りノートを活用、必要に応じ見直しをしている	○	記録を充実させ情報交換をする
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受け入れ資格がない	○	今後の課題である
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年2回消防署との合同避難訓練、野里小学校、民生委員、町内会長さん方に協力頂き地域での生活が安全に楽しく出来るように支援している	○	近所集落との交流をもっと取り入れていきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のサービス事業所等と、定期的に話し合ったり、情報提供しあい支援している	○	必要に応じて積極的に、他サービスの活用を支援して行く

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターと協働する事例は未だ無いが、いつでも連絡相談協働できる関係作りや話し合いを定期的に持ち連携を図っている	○	今後はより積極的に関係の構築に取り組む
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各利用者の係りつけ医により適切な医療を受けられるようにしている	○	係りつけ医を大切に、良い関係を保ち安心して毎日を過ごして頂く様に情報交換を蜜にする
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医師とは、その都度利用者の様子など相談し適切な治療を受けられるようにしている	○	継続している
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	その都度、連携を取りながら相談支援している	○	当ホームには2名の看護師がおり、その都度相談支援している
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	面会を細目に行い情報交換や相談に努め早期退院出来る様に連携している	○	継続している
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階から全員で話し合い、係りつけ医とも話し合いをし方針を共有している。必要に応じて家族と話し合いし特老への申請も行っている	○	家族が近隣にいない方も、電話などで話し合いをし方針を共有している
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	変化に備えて検討や準備を行いその都度支援に取り組んでいる	○	希望に沿える様にスタッフで勉強会を開き良い支援が出来るよう努めマニュアル作成などをする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ 移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者 間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替 えによるダメージを防ぐことに努めている	細目な情報提供を行っている	○	行政、サービス事業所と本人を交えて相 談を行う事が出来た事実がある
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよ うな言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り 扱いをしていない	個人情報やプライバシーは確保されている。ケー ス会議、担当者会議等で使用する場合本人、家族 に承諾を得ている	○	継続している
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、 わかる力に合わせた説明を行い、自分で決 めたり納得しながら暮らせるように支援をして いる	利用者さんの希望は、根本的に聞き納得いく形で 支援している。自己決定出来ない利用者さんには 自己決定出来る様な言葉かけを行い支援する	○	本人のペースで生活できるように見守り 支援、共感している
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりのペースを大切にし、その日を どのように過ごしたいか、希望にそって支援し ている	本人のペースで生活出来る様に見守りながらレク リレーション、戸外への散歩など有意義に暮らせ る様に支援している	○	本人のペースを大切にしている
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができる ように支援し、理容・美容は本人の望む店に行け るように努めている	毎日身だしなみ（髪、服）清潔に保つよう支援し ている。理容は、その人が望む店に行ったりス タッフで理容されたり、それぞれ望み通りできて いる	○	女性の利用者には化粧やオシャレが出来 る様取り組んで行きたい。男性には背広 など着用する機会も取り入れて行きたい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとり の好みや力を活かしながら、利用者と職員が一 緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を行い、本人の嗜好に合わせて楽しめる よう努めている。晩酌通の方には（身体上）ポカ リ焼酎で対応し、焼酎として大変喜ばれている	○	季節が感じられる様、食卓への工夫は出 来ているがもっと工夫して行く

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好調査を行い、本人の嗜好に合わせて楽しめるよう努めている	○	季節が感じられる様、食卓への工夫は出来ている
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を用いて声かけ誘導介助を行い失禁がない様に取り組んでいる	○	個人により日中は布パンツでトイレの声かけ誘導をしている。日によってパターンが定まらない時もあるが、諦めずサインを見つけ気持ちよく暮らして行けるよう努めている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴、足湯、温泉利用にて大変喜ばれている。又必要に応じて都度シャワー浴して気分よく過ごされている	○	入浴の順番を変えて不公平のないよう心かけている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないように日中の声かけに取り組んでいる	○	昼間、身体を動かして心身ともに安心出来る様に支援している
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外気欲をしたり、外食やドライブにこころかけるなど外に出て気晴らしになり楽しい時間をつくる様にしている	○	行事を取り入れ張り合いや喜び楽しく暮らせるよう日々目指して行く、買い物など全員で行ける様心かけたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数名の方がお金の管理が出来ておられる	○	お金を所持して使える方は一部しかいらしゃらないが他の人も日常生活品の購入など一緒に行って行きたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近場の散歩程度である	○	楽しく気軽に自由に出かけられる環境作りも心かける
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食、ドライブ、花見などしている。墓参りなど時々支援しているが個人的にもっと家族の応援を頂きながら増やして行きたい	○	面会がない人のケアプランに個人外出を取り入れている。活発に支援して行きたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書かれたり電話を頂いたりしている。また年賀状、暑中見舞いを出したり様子を知らせる	○	日常、脳リハ活用的に手紙を書いたり習字をしたりしているので、それ等を添えて手紙にしてやり取り出来るように支援して行きたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入りやすい雰囲気作りに心がけゆっくり過ごして頂けるようお茶などだしている	○	明るい挨拶に心がけ、飲み物など出してゆっくりと会話して頂けるよう努めている
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束をせず利用者の自由にさせているが危ない時は声かけ、見守りをし転倒や怪我に注意する	○	拘束を必要としないケアの勉強会を今後やって行きたい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	実施している。好きな時に利用者が戸外に出られるようにしている。玄関、門扉等日中は鍵かけしていない	○	戸外に出られた時は見守り強化転倒への見守りには付き添う

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、 昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全 に配慮している	常に所在しているかスタッフ同志連携を取りなが ら実施している	○	常に所在確認、行動を見守り優しく対応 する
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではな く、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取 り組みをしている	危険物は保管庫に納め鍵かけしている。また石鹼 等は、個室に置いてある所もある	○	常に薬は鍵かけ保管している。危険物 (シャンプー、ハイターなど)の片づけ は忘れられないように気をつけている
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ ための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた 事故防止に取り組んでいる	誤薬がない様にスタッフ間で直前に確認し合い実 施している。ヒヤリハット事故報告などで話し合 い常に意識向上に努める様にしている	○	夜間2時間置きの巡視、必要に応じて訪 室し所在確認様子観察している。戸締り 火気確認を必ず行う、小さなヒヤリハッ トも出し合って未然に防げる様にしてい る
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職 員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っ ている	職員会議等で勉強会に出しているが一部の職員 のみが出来ている	○	全ての職員が応急手当や初期対応が出来 る様になるまで定期的に訓練をして行き たい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わ ず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろ より地域の人々の協力を得られるよう働きかけ ている	地域の方の協力をしてもらえよう声かけし定期 的に非難訓練をしている	○	避難訓練等実施している。地域の方々の 協力体制を行う
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族 等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした 対応策を話し合っている	本人、家族への説明し対応策を話し合っている。 また特老への申請など話し合いの上行っている	○	共同生活する事で住みやすく楽しい暮ら しを目指し行っている。家族へは日々状 態報告して話し合っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日朝食前にバイタルチェックを行い異常のある方は再検し様子観察する。また受診が必要な場合は病院、家族へ連絡し早目の対応に努めている	○	その都度状態変化などの様子観察や水分補給など心がけている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員同志で利用者さんの名前を確認徹底し誤薬しないように服薬支援している	○	薬保管は鍵付き棚に直し誤飲しないよう職員同志確認の徹底を行い間違いのない様にする
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	飲食物の工夫（毎朝バナナ牛乳、おやつに薩摩芋類を取り入れている）リハビリ体操、ストレッチマッサージ、腹圧、歩行訓練など取り組んでいる	○	排便チェックを行い自然排便できるよう声かけ支援する。水分摂取の声かけを細目に行う
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行い義歯や口腔状態を観察している。歯ぐきの状態、噛み合わせなど本人に聞いたり確認する	○	義歯等のブラッシング出来る利用者さんには自力でももらい自立を促す。出来ない利用者さんは介助し口腔内清潔保持に努める
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日報に記録し食事水分摂取状態を把握している	○	自分で進んで飲んで頂けるよう声かけなど取り組んでいるがなかなか飲まれない方は好きな飲み物を飲んで頂く
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザ予防接種、手洗いうがい居室の換気衣類の調整等を行っている。排泄介助後、手洗い洗浄を行っている まず、スタッフから予防するという事で、出勤時、手洗い、うがいの実行を徹底している	○	常日頃、手洗いうがい、水分補給等に気をつけ、病気にかからない予防対策に力を入れて行く

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は、消毒を行い生ものは出さない様にして湯せんに必ずかけるようにしている。介助エプロンと調理エプロンの区別、賞味期限を守る	○	常日頃、手洗い、うがい等徹底し病気にかからない予防対策を行う
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門扉の開放を行い、どなたでも入って来て頂けるように雰囲気にかかっている	○	玄関に花を飾り明るく和める様に心がける
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場は清潔にし季節の花を生けたり壁面の飾り（季節感）を出し居心地よく過ごせるようにしている	○	日々の掃除を徹底する。トイレ臭いがない様にハイター液でトイレの中は掃除している
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーに座りテレビ鑑賞されたり玄関先の渡り廊下に椅子を置き外気浴や会話など楽しめる様にしている	○	誰が来ても落ち着く場所を目指し居場所作りを工夫していく
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス、写真、本などを置き工夫している	○	思い出の物を持参されて朝夕手を合わせたり、ゆっくり過ごされている
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室の窓やリビングの天窓を開け換気している	○	温度計で湿度差が出ない様に換気空調に努めている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活を送れる ように工夫している	手すり、ギャジベッド、車椅子対応型洗面台があ り、バリアフリーとなっている	○	危険物の整理整頓、行動しやすい空間作 りと見守りを強化している
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	残存機能を活かして出来ることを見守り声かけ し、一緒に行っている	○	残存機能を活かし出来ることへの声かけ 見守りと一緒に行動している（調理の下 ごしらえ、洗濯物たたみ、物運び等）
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	テラス下で夕涼みをしたり会話を楽しんでいる	○	菜園や花園を作り、外気浴など楽しまれ る

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		回答
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	③ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	③ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない

項 目		回答
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	③ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	② ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	① ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

### 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

重度化に向け、一人ひとりの今の状態を、常に見極めながら何をどこまで出来るのか、今後もご家族様と共に一緒に考えより一層一致団結し努力して参ります。スタッフが元気で明るく働く事で、利用者様の笑顔にもつながります。残存機能を生かした支援で、楽しく充実した日々を送れる様、努力を続けます。

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム うえの
(ユニット名)	ふくの家
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県鹿屋市上野町5200番地1
記入者名 (管理者)	田中 洋子
記入日	平成 20 年 8 月 5 日

(様式1)

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	1 自分のペースで生活出来るように暖かく見守ります 2 清潔な場所でオシャレをして、いつも笑顔で楽しく過ごします 3 家族や地域の方々との交流を大事にします 4 趣味活動を生かしながら生きがい作りを持ち続けます	○ 個人の買い物等支援していく
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	個々のニーズに添ってそれぞれの歩行、立位、精神的フォロー等に取り組みその他に外気浴や外出、生け花、家族との交流、温泉、散髪、身だしなみ等楽しみのケア、衛生的ケアに取り組んでいる	○ 音楽教室や書道教室なども行っており、それらの内容を充実させて行きたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	利用者本人から年賀状や暑中見舞い等のはがき作成やうえのからの「ハッスル」発行、いつでも遊びに来て頂けるような雰囲気作りと声かけを行い、家族や友達等一緒にお茶を楽しんでいる	○ 近隣や面会の多い家族以外の方との交流を夏祭りや敬老会ボランティア参加を通してもっと身近になれる様取り組みたい
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	常に玄関、門扉の開放、散歩での出会い挨拶等に努めている	○ 行事や外出などを通じ、近隣の方との交流を深めて行きたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	グランドゴルフ、敬老会、夏祭り声かけ、地域活動（運動会、夏祭り）に参加している	○ 利用者及び地域の人々の声に耳を傾け、地域の行事等への参加を増やして行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内会の話し合い等に参加している	○	町内会での情報を活かし、職員会議等を通じて周知し、日々の取り組みに役立てていく
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	小学生やボランティアの方の慰問を積極的に受け入れ、地域交流に努める	○	評価を率直に受け入れ、勉強会等でさらなる向上を図る
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、頂いた意見を職員に周知させ、サービスの向上に役立っている	○	意見をしっかり受け止め、職員が一体となって向上に努める
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市会議員さんや、町内会の方を行事等にお招きし、また意見を頂いたりしている	○	施設内行事へのご参加をより積極的に呼びかけていく
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度の理解については深めているが、活用するまでには至っていない	○	勉強会を実施し、活用機会を増やしていける様努める
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は絶対許さない精神で、日々のサービスにあたっており、また実践している	○	ベッド柵については家族の了解のもと使用しており、利用者本人の状態に沿った形でよりよい方向を見極める

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に説明を行い、納得した上で入所して頂ける様にし、その後の不満、苦情等もその都度対応し、理解と納得を図っている	○	小さな事にも耳を傾け、それを受け止めよりよいサービスを目指す
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱の設置を行い、苦情や意見にはその都度話し合いの場を設けて、運営の向上に努める	○	苦情をより良いサービスへのチャンスと受け止め、真摯に取り組む
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に近況を報告、面会が困難な方には電話にて連絡している	○	「うへのハッスル便り」の発行等を通し、コミュニケーションを図っている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケース会議や職員会議を行いその都度意見交換を設けたり、突発的な問題にはその都度会議を持ち対応している	○	運営に反映させるべく、苦情処理ノート の設置活用を行っている
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ケース会議、職員会議にて意見交換を行っている	○	ケース会議等必要に応じて回数を増やす
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務に関しては柔軟な対応を目指し、短い期間での見直し、変更を心がけている	○	職員間での連携や意見交換も蜜に行い向上に努める

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ダメージを防ぐ様コミュニケーションを図っている	○ コミュニケーション等十分に行う
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の参加、内外の機会を活用している	○ 研修会報告も合わせて行い、職員全体のレベルアップを図っている
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム経営者連絡協議会や近隣グループホームと連携を組みサービスの向上を目指し努めている	○ よりよいサービスの為、他施設への見学や研修の回数を増やして行く
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	勤務希望、勤務交替を全面的に行い個人の趣味活動等応援している	○ 食事会等の機会を設け、ストレス軽減を図り日々のサービスの向上に努めている
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勉強会や各自の工夫や意見等を話し合い、課題に取り組んで各自が向上心を高め合いながら働きかけている	○ 職員同志が気兼ねなく意見を交わす事が出来る様雰囲気作りに努める
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人や家族の話に耳を傾ける様努めている	○ 気軽に話し始める事が出来る、施設の雰囲気作りに努める

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所の際の説明の他、見学の際にどのようなケアに努めているか理解して頂き、その際家族の要望不安を聞きその声に応じられる様努めている	○	細かな事まで耳を傾ける努力を行う
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際、まず利用者を中心に必要なサービスがグループホームであるかを事業所としても問い、その人のために必要な最善のサービスへの対応に努めている	○	生活の中でレクリエーションや行事として取り入れられないか等、常に検討している
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	コミュニケーションを通し信頼関係を築く努力を行い、家族を含めスタッフ本人と話し合いサービスを提供している	○	家族と職員の信頼関係を土台として、安心して生活して頂けるケアに努める
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	会話の中から生活の知恵や工夫など引き出し、一緒に生活を共有している	○	スキンシップに努め、信頼関係の構築を図っている
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入所の際、グループホームについての理解をしていただき、一緒に本人を支えていくという基本的姿勢である関係を築いている	○	情報交換を蜜に行い、信頼関係を築く
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事の連絡を行い参加していただくように知らせる	○	家族と利用者の場を大切にして頂き、職員は時にその橋渡しとなるべく努める

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族の関係を支援し、その他友達や知り合い等お茶の時間など一緒に過ごし面会に来られた際にいつでも会いにきて頂けるように声をかけている	○	行事の日時についてお伝えし、より多く面会に来て頂ける様に努める
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が支え合い助け合う事も見受けられているが、一つの家族として支え合えるようにスタッフも努めている	○	安心でき孤立のない生活を自分のペースでできるようにしている
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	関わりを必要とする利用者や家族との交流を面会という形等で継続している	○	施設から他施設への情報提供も含め、利用者本位の姿勢に基づいて関係を継続している
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの要望に合わせた対応や困難な場合は、本人に説明しストレスにならない様な対応策を考慮していつている	○	日々のコミュニケーションを最優先とし努力する
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	スタッフ全員で利用者個人の生活歴や経過を共有、把握に努めケアに活かしている	○	回想によりこれまでの暮らしについて話して頂く等、理解を深める努力を怠らない
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケース会議や担当者会議において、現状を把握し共通した支援が伝える様に努めている	○	一日の流れにメリハリを付け、個々の現状をしっかり見極める

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は本人、家族を含めた担当者会議で話し合う他ケース会議やスタッフで突発的に話し合い、計画に反映して作成している	○	日頃からのコミュニケーションを一番に情報収集に努め、反映していく
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケース会議や本人の特変に応じ、本人、家族等と相談しながら現状に即した計画作成をしている	○	変化が生じた時点で検討に入る等、短いスパンで状況に応じた計画の見直しを行う
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を反映させ、情報を共有し改善、共有しながら見直し検討をされている	○	細かな変化も見逃せず、情報を共有するべく、記録の作成や申し送りを行っている
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受け入れ資格がない	○	今後の課題である
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域での生活における豊かさと安心を目指し、野里小学校や消防署、町内会長の方などに協力を依頼している	○	より広く地域資源の活用を目指し、情報の収集と活用に努める
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のおけるケアマネやサービス事業者と定期的に話し合ったり情報提供し合いながら支援をしている	○	必要に応じて積極的に他のサービスの活用を支援していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターと協働する事例は未だ無いが、いつでも連絡相談協働できる関係作りや話し合いを定期的に持ち連携を図っている	○	今後はより積極的に関係の構築に取り組む
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	係りつけ医の受診支援を積極的に行っている	○	必要に応じて蜜に連絡を取り合い、よりよい支援を目指している
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	診断書や内服薬の相談などを通じて、職員が理解しより良い支援を目指し実践している	○	現況の変化を見逃せず、また対応できるように体制作りに取り組む
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	蜜に連絡を取り合い、日常の健康管理と医療活用の支援を行っている	○	施設内に看護師が2名在籍し、相談支援を細目に行っている
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	面会を細目に行い、また情報交換も積極的に行っている	○	早期復帰を支援すべく、心身の両方から支えていく
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族と話し合い意思の確認を取っている、未だ終末期まで過ごされた方はいないが、ターミナルケアまで看取りが出来る様スタッフ共に方針を共有している	○	家族と方針を共有するため、細目の情報交換を目指し、また実践している
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度やそうなりつつある利用者が増えつつある。何が出来るか見極める必要あり、常に向上に努めている	○	今後の変化に備えての準備等、具体的に検討していく必要がある

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ 移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者 間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替 えによるダメージを防ぐことに努めている	転居先や家族、本人交えて情報交換を蜜に取っ ている	○	行政やサービス事業所と本人を交えて相 談を行う事が出来た事実がある
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよ うな言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り 扱いをしていない	利用者や家族の希望を聞き、それに添う様にして はいるがケース会議、担当者会議等では使用する 事を承諾を得ている	○	今後も本人のプライバシー保護を優先出 来る様に努める
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり 、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決 めたり納得しながら暮らせるように支援をして いる	自己決定に援助していくが、困難事例は本人、家 族と話し合いを持ち取り組んでいる	○	共感や尊敬の心を忘れず、本人本位の支 援を心がけている
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりのペースを大切にし、その日を どのように過ごしたいか、希望にそって支援し ている	本人のペースで生活出来る様、声かけ見守りを 行っている	○	本人のペースを見守り声かけ行う
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができる ように支援し、理容・美容は本人の望む店に行 けるように努めている	理容は定期的に声かけし利用者の意思に従う	○	爪切り（手、足）なども、細目にケアし ていける様努める
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとり の好みや力を活かしながら、利用者と職員が一 緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査や日々の会話にて聞き出しメニューに取 り入れる	○	季節の物や下ごしらえ等に参加して頂く

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食事前、利用者さんにその日の希望を聞いたりしている	○	食事前、利用者さんの希望にて支援する
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表にて介助、声かけなど失禁ない様に心がけ気持ちよく排泄出来る様に支援する	○	排泄表にて確認し失禁ない様に介助声かけしている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴、足湯、温泉利用にて大変喜ばれている。又必要に応じて都度シャワー浴して気分よく過ごされている	○	入浴の順番を変えて不公平のないよう心がけている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないように日中の声かけや活動に取り組んでいる	○	日中に出来るだけ、声かけや活動など入れて夜ぐっすり休めるように心がける
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	年々新たな行事を増やしつつある	○	新しい行事を入れられるよう支援する
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現状お金の管理が困難な方が増えつつあるが、声かけや相談を行い本人の希望に応じた買い物を行うなどしている	○	徐々にお金の管理を本人にお任せ出来るよう支援していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年中行事（外食、ドライブ、温泉、遠足、花見等）にて屋外へ出かけ気分転換していただいている	○	施設周辺の散歩など、短い時間の外出機会も増やして行く
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族と利用者様が一緒に外出される機会も増え、普段行けない所へ出かけ気分転換されている	○	個々の利用者の方に行きたい所を尋ねるなど希望を伺い実際に検討支援していく
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状、暑中見舞いを通してご家族等とのコミュニケーションを図って頂いている	○	利用者、家族の希望に添って常時電話や手紙にてコミュニケーションが図って頂ける様支援していく
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	施設として気軽に入れる雰囲気作りを行い、面会の方にはお茶、お菓子を出して利用者の方とともにくつろいで頂いている	○	訪問された方に、またすぐ行きたいと思っ頂ける環境づくりに取り込む
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	見守り、声かけを行い転倒などのない様職員の連携にて対応している	○	勉強会や討論を通して、拘束を必要としない介護を引き続き実践していく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関の施錠は行っていない	○	日中は、窓を含め出来るだけオープンにし開放的な環境作りを行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、 昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全 に配慮している	常に所在確認を行い、職員同士の連携強化に努め ている	○	利用者本人の意に反しない様に留意しな がら常に見守りを行っている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではな く、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取 り組みをしている	危険物、薬等は鍵かけて保管している	○	薬、危険物等に対する危険は未然に防止 する様努めていく
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ ための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた 事故防止に取り組んでいる	誤薬がない様にスタッフ間で直前に確認し合い実 施している。ヒヤリハット事故報告などで話し合 い常に意識向上に努める様になっている	○	夜間の巡視、戸締り、火気の確認の徹底 に努めていく 小さなヒヤリハットを出す(向上に努め る)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職 員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っ ている	一部の職員に処置や対応を依頼する事が現状では 多くなっている	○	職員全員がしっかりした対応を取れるよ うに、訓練して行く、自信を持てる様 にして行く
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わ ず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろ より地域の人々の協力を得られるよう働きかけ ている	定期的に行う避難訓練等を通して、地域の人々の 協力も得られる様に働きかけている	○	地域の人々に対して、より理解を深めて 頂ける様、避難訓練の周知にも努めてい く
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族 等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした 対応策を話し合っている	本人、家族との話し合いの中で常により良い方向 性を考慮している	○	より深く本人や家族の意向に沿える介助 を目指していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎起床時バイタルチェックを行い、早目の病院受診に努めている	○ 日勤夜勤の交代申し送り等を確実にを行い、連携を図り対応していく
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬前の名前確認を職員同士で行うなどしている	○ 個々の人の薬の目的等を職員全員が理解できる様、周知の手段を工夫する
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	飲食物の工夫と適度な運動等、朝のバナナ牛乳などで快調な便通を支援している	○ 薬に出来るだけ頼らない方策で、まず予防に努める
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの声かけ、見守り実施し仕上げ磨き等をする	○ 入れ歯の利用者様の合わなくなってくる入れ歯について考える
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日報に記録し個々の病状病歴にて注意している	○ 日報を通して個人の摂取量を把握する
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染マニュアル作成し症状に応じ行動できる様にしている まず、スタッフから予防すると言う事で、出勤時、最初に手洗い、うがいの実行を徹底している	○ 常日頃、手洗いうがい等、支援し病気にならない予防対策を行う

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所に入る前の手洗い、エプロン交換、食器や用具はハイター熱湯消毒をしており、賞味期限チェック、冷蔵庫掃除等定期的に行っている	○	毎日手洗いとエプロンの交換、週1回冷蔵庫内の掃除、まな板の除菌を細目にし、スタッフの爪切り徹底
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	夏はアミ戸にし、いつもロック解除しており、出入りがしやすくしている	○	木々の緑や花の管理に気を配り、親しみやすい施設作りに努めている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には生花を廊下、リビング等には、季節を感じる小物等を置いている	○	掃除を細目に行い、清潔で居心地良い環境を目指し実践している
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関屋外の椅子やTV前のソファ、玄関前のソファ、テーブル、椅子と自分の思いで過ごせるようセッティングしている	○	危険の無い環境を念頭に置いて、一人ひとりの居場所づくりが行えている
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具、小物等を置いている	○	採光や風通し等も考慮し、毎日の管理に努めている
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度計、湿度計にて細目にチェックし換気や冷暖房などを使用し、体調変化に気をつけている	○	利用者の声にも耳を傾けながら、換気や冷暖房使用を行っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	手摺り危険物を除去し見守りを強化する	○ 本人の意に反しない範囲での見守りと、 安全な環境作りを両立する事を目指す
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	洗濯たたみ、洗濯物干し等短時間でも一緒に行動 する	○ 利用者の「人の役に立ちたい」という願 望を汲み取り、共に喜びを分かち合う努 力をする
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	菜園、花園を作っており、ガーデンテーブル設置 し外気浴等、個々で楽しめる様にしている	○ 隣接した空き地を利用し散歩コースを作 る菜園に季節の野菜作りなど取り入れて いる

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

## V. サービスの成果に関する項目

項目		回答
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	③ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない

項目		回答
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	② ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	② ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	① ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	② ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

### 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

重度化に向け、一人ひとりの今の状態を、常に見極めながら何をどこまで出来るのか、今後もご家族様と共に一緒に考えより一層一致団結し努力して参ります。スタッフが元気で明るく働く事で、利用者様の笑顔にもつながります。残存機能を生かした支援で、楽しく充実した日々を送れる様、努力を続けます。